

第7回釧路市都市計画マスタープラン検討専門委員会議事要約

日時 2021年(令和3年)10月11日(月)午後2時～

場所 釧路市役所防災庁舎5階 災害対策本部室

■主な議題■

(1)第2次釧路市都市計画マスタープラン(地域別構想)について

■発言要旨■

(1)第2次釧路市都市計画マスタープラン(地域別構想)について

(各委員)

- ・都心部拡大図について、都市機能を更新する必要があることをわかりやすく示すため、市街地再開発事業を進める考え方を整備方針図にも追加してはどうか。
- ・空きビルのリノベーションに関する学生意見に対し、北大通の遊休不動産などの既存ストック活用の施策を推進する旨の記載があるが、市街地再開発などの都市機能を更新する旨の記載に修正してはどうか。
- ・無料の駐車場や駐輪場の整備に関する学生意見に対し、駐車実態や需要動向を把握し、各種施策を展開して適正配置に努める旨の記載があるが、都心部に居住を増やし、駐車場に依存しない社会を目指す必要があるのではないか。
- ・幣舞橋は生活道路だからといって1m幅しか除雪をしない。既存の考え方にとらわれるのではなく、市民目線での変革が必要ではないか。
- ・「まちのツボ」という考え方は良いが「助言や支援」ではなく、市も一緒にやっていく姿勢を見せて、市民をその気にさせる見せ方にしてはどうか。
- ・大学生などの若い人との意見交換の場を継続的に設けてもらいたい。
- ・地域整備目標「安心で心地よく暮らせる地域づくり」の地域整備方針が防災ばかりとなっている。治安や高齢者向けの記載など広い意味でとらえた記載もあった方が良いのではないか。
- ・都心部の空き店舗対策の地域整備方針はあるが、空きスペース(低未利用地)対策についての記載もあった方が良いのではないか。
- ・「まちのツボ」とは何か、ソフト面かハード面かも含め、読み手によって受け止め方が変わってくるので具体的に例示するなどしてわかりやすい記載としてはどうか。
- ・幣舞橋は観光施設でもあるので、普通の橋とは違い、歩道ではなく広場として扱うべき場所ではないか。
- ・春採公園と武佐の森緑地について、体験学習の拠点としての活用を推進すると記載しているが、自然環境の保全の考え方を追加してはどうか。
- ・音別の富貴紙(ふきがみ)の紙すき文化の伝承と普及促進に向けた取組みを進めると記載しているが、拠点の整備の考え方を追加してはどうか。

- ・まちづくり推進の支援である交付金について、釧路市の交付金事業を国や北海道の制度より目立つように大きくし、窓口も記載するようにしてはどうか。
- ・都心部拡大図の道路の区間、道路と線路が交差する部分について、主要交通ネットワークに入れない予定の箇所が記載されているため、都心部まちづくり推進室と協議してはどうか。
- ・地域の特徴と主な住民意見では、どこを指しているエリアなのか伝わりやすいように判別できるよう修正してはどうか。
- ・「まちなつぽ」やまちづくりを市民に知ってもらう方法について、従来のHPや広報だけでなく、どのように周知していくか、セミナーやネットの活用などの工夫をしてほしい。

(事務局)

- ・議論いただいて出た意見については、後日開催する都市計画審議会までに調整をとりながら素案をまとめさせていただく。

<釧路市住宅都市部都市計画課都市計画担当>